



*PTA かわら版は、市内小中学校の校長先生および PTA 会長様あてに発行しているものですが、職員や PTA 役員の皆様にもご回覧ください。

星に願いを ～伝える感謝 つながる思い～

故郷復興プロジェクトとして9回目を迎えた七夕飾りですが、今年度は、子どもたち一人一人が願いを込めた手づくりの折り鶴に、想いを包む天の川（スタークロス）が包み込んだ飾りつけとなりました。この七夕飾りは、仙台市内の小学校・中学校・中等教育・特別支援学校の児童・生徒と宮城県内の学校10校を新たに加え、8万8千羽の鶴を折り、各PTAの協力を得て完成したものです。

8月6日（火）、オープニングセレモニーが一番町藤崎デパート前で行われ、佐々木洋教育長のごあいさつの後、志賀猛彦仙台市PTA協議会会長からは、「震災当時、未就学だった子どもたちが作った折り鶴が、七夕飾りとなってしっかりとその意味をつないでいます。」とあいさつがありました。七夕飾りの前では、木町通小学校の児童と第一中学校の生徒が復興ソング「希望の道」と「仲間と共に」を合唱し、9回目の復興七夕がオープンしました。

子どもたちの願いや想いのこもった七夕飾りの前には、たくさんの観光客や市民が足を止め、写真を撮ったり、歓声を上げたりしていました。



子どもたちの願いや願いが短冊に



想いをつなぎましょうと志賀会長

